

なすしおばら ボランティアセンター情報誌

令和5年11月20日号

誰でも自由に 過ごせる場所

～あおう～ ～a,ou～



『誰でも 自由に 過ごせる場所～あおう～』

「地域の方、赤ちゃんからお年寄りまで誰でも自由に過ごせる場所」が、中央町の元こばやしミートの店舗を利用し9月1日（金）に誕生しました。キッズスペースやおむつ替え・授乳スペース、駄菓子コーナーもあります。毎月第4日曜日は「みんなの食堂」が開催されます。第1回目の9月24日（日）の献立は具がたっぷり入ったカレーライスでした。

この日は、地域の方や家族連れが訪れていました。美味しいカレーに子どもたちの「おかわり！」と元気いっぱいの声が店内に響き渡り、居心地の良さを感じました。

料金は、小学校までは、1食100円。中・高校生は300円。大人は500円です。

その他ドリンク、手作りスイーツもあります。

～あおう～は毎週金・土・日の11:00～18:00までオープンしています。

ぜひお立ち寄りください♪

※第3日曜、年末年始、お盆はお休みです。

帰ってきた!!

第42回 ふれあい広場



令和5年9月30日（土）、3年ぶりに「第42回ふれあい広場」が開催されました。これまで、コロナ禍ということもあり、外での開催を見合わせてきましたが、今年は、規模を縮小してではありますが、開催することができました。

「子供からお年寄り、障害のある方もみんなで作るふれあいのイベント」を目的に、市内の福祉施設、ボランティア活動団体、企業などが協力して、イベントを盛り上げました。



チャリティウォーク 60 km

黒磯コースは21km

～フードバンクの助け合いが“希望のタネ”になる～

9月30日(土)、フードバンク県北(とちぎボランティアネットワーク)主催の「チャリティウォーク 60」が開催されました。この活動はフードバンク活動を広め、支援するためのチャリティイベントです。持ち寄られた食品などの寄付は、県内のフードバンクに役立てられます。今年の県北チャリティウォークは、初めて黒磯地内のコースを21km歩きました。この日は、ボランティアなど合わせて150名が参加し「笑顔で完歩!」「最後まで諦めずに支え合おう!お互いさまの気持ち!」など、意気込みや想いが伝わるメッセージとともにゴールを目指してスタートしました。

子どもからシルバー世代、留学生が参加し多世代の国際交流ウォークとなりました。昼食は那珂川河畔公園でボランティアと地域の企業が炊き出しを行い、参加者を応援しました。

「この活動を伝えることで興味をもってもらいたい。実は地域でのフードバンク活動も広がっていて、助け合いの心でつながっている」と安井実行委員長(しょうちゃん)は笑顔で話しました。



ボランティア交流会(第2回)

～認知症サポーター養成講座～



ボランティアセンターに登録している個人と団体を対象に10月26日(木)、第2回目の交流会を開催しました。今回は「認知症サポーター養成講座」を通して31名が交流しました。

はじめに、寸劇を交えた講座を行いました。日常に起こりうるであろう内容を、全員が真剣に、また笑いもありつつ受講しました。後半は、自己紹介や本日の感想など積極的な意見交換の場となりました。

「ボランティア活動をしている者同士でこれからの社会問題を一緒に考える場となり、充実した時間を過ごせた。学んだ知識を活かしていきたい」と話していました。全員がオレンジリング※を受け取り、講座を終了しました。

※オレンジリングは「認知症サポーター養成講座を受講済みで、認知症に対して基礎的な理解がある人」という証です。





黒磯地区更生保護女性会

～高校生を応援する運動～



9月13日（水）、犯罪や非行のない地域を築くために活動している「黒磯地区更生保護女性会」が、那須塩原市図書館「みるる」で、高校生を応援する運動を行いました。来館した高校生一人ひとりに、会員たちがこの日のために作製した、手作りの布製チューリップ約90本を手渡しました。温かみのあるそのチューリップには、高校生への応援メッセージが添えられ、手にした高校生は、会員たちの声に耳を傾けていました。また、この日は、那須塩原市高校生ボランティアグループ「とんぼの会」の3人も活動に参加し、活動を盛り上げました。

「黒磯地区更生保護女性会」は、社会を明るくする運動への協力や保護司会と連携した活動を行うほか、黒磯地区の中学校へチューリップの球根を、また立志式を迎える中学2年生へ「愛の鈴」を寄贈する活動を行っています。



腹話術人形のごんちゃん



10月3日（火）、「居場所のはつる」で個人ボランティアの鈴木光子さんによる腹話術が行われました。鈴木さんは腹話術人形の「ごんちゃん」を使って、わかりやすい健康の話や防犯の話をしてくれます。

はじめに、「もしもしかめよ、かめさんよ」と肩をたたきながら歌に合わせてリズムをとり手遊び脳トレをしました。リラックスしたところで次に登場したのは、折り紙で作った手作りの紙芝居です。参加者は可愛らしさに大感激。鈴木さんの話に引き込まれ、全員が聴き入っていました。

お待ちかねの腹話術の時間です。「ごんちゃん」と紹介された3才の男の子は、まるで本物の子どものように。この日は、「口の体操」「丈夫な足腰」など、健康の大切さを促す内容で全員が、「うんうん」と頷きながら聴いていました。

最後に「憧れのハワイ航路」にのせてごんちゃんと手を大きく動かしながら体操しました。「まだ帰りたくないけど、またねー!」「ごんちゃん、また来てね!」と全員で手を振って終了となりました。

「ごんちゃん」に会いたい方は、ボランティアセンターまでお声かけください。



▲手作りの紙芝居です！かわいい！

▲自己紹介をするごんちゃん

▲脳トレ手遊びをしている様子



イベントで活躍するボランティア

～活動紹介～



9月3日(日)、GUNEI 三島ホールで「那須野の大地」第22回公演が開催されました。

この日は那須塩原市高校生ボランティアグループ「とんぼの会」を含む4名が、受付やドアマンなどのボランティアとして参加しました。



9月11日(月)、「多機能型事業所はな」で「なすの三線の会」が演奏会を行いました。最後に、みんなで一緒に「カチャーシー※」を踊り会場を盛り上げました。

※沖縄民謡の演奏に合わせて踊られる踊り



ボランティアセンター登録団体「風船で遊ぼう!!」の富永さんを講師に招き、10月11日(水)、三区町生きがいサロンで、バルーンアートを行いました。まず初めに、風船の膨らませ方や縛り方の練習をして、その後、好きな色の風船を選んで犬のバルーンアートを作りました。出来上がったバルーンアートを互いに見せ合いながら、作品の出来栄を話して盛り上がりました。参加者からは、「楽しかった」「またやりたい」などの感想を聞くことができました。手先を動かすバルーンアートは、生きがいサロンにお薦めです。



10月15日(日)、大正堂くろいそみるひいホールで「第7回家庭の日推進事業」のイベント会場ボランティアを行いました。チケットもぎりやドアマンを那須塩原市高校生ボランティアグループ「とんぼの会」と個人ボランティア5名が行いました。



「FUKUSHIMA ところつなぐプロジェクト」は福島県の避難者支援をしている団体です。例年「高林そば研究会」の手打ちそばを避難所に届けていました。今回は10月28日(土)に、二本松市根柄山団地を訪れボッチャやコーヒーの淹れ方講習などの交流会に行ってきました。



イベント情報

第3回 県北クリスマスウォーク



～サンタになって、子どもたちに笑顔を届けよう～

街頭募金も！！

時間 16:00-18:00

場所 TOBU 大田原

トコトコ大田原

Night

参加者・寄付・ボランティア 募集！



集合場所：大田原市中央多目的公園 ※15:00 集合

(〒324-0056 栃木県大田原市中央 2-8-2360)

コース：スタート⇒TOBU 大田原⇒王冠ボウル⇒金燈籠

トコトコ大田原⇒大田原市中央多目的公園（約4km）

参加資格：参加寄付 1,000 円以上＋お菓子の寄付

小学生以下は無料（引率者同伴に限る）

持ちもの：クリスマスらしい服装（サンタやトナカイ）＆懐中電灯

申込締切：12 月 9 日（土）

申込：TEL/0287-48-6000 ✉tvnet.kenhoku@gmail.com

12/16（土）

15 00 - 19 00



県北クリスマスウォーク Night とは

社会的・経済的に困っている世帯や、その子どもたちを支えて応援したいという想いを広く伝えるためのチャリティイベントです。参加寄付はサンタDEランを通じて、フードバンク県北と子どもの居場所スマイルハウスの活動資金になります。



主催 とちぎボランティアネットワーク県北支部

フードバンク県北・子どもの居場所スマイルハウス(担当 安井)

住所 栃木県大田原市住吉町 2-16-22

TEL 0287-48-6000 FAX 0287-48-6700



収集物報告

令和5年4月～10月までに皆さまからお預かりしたプルタブ3.9kg(ボランティアセンター黒磯預り分)を太陽の里福祉会にお渡ししてきました。集められたアルミ缶のプルタブは、施設の活動に役立てられています。ご協力ありがとうございました。



▲太陽の里福祉会へお渡ししてきました！

なるほど！ 豆知識



800kg(約160万枚)で車いす

1台が交換できると言われていました。

アルミ缶やプルタブを集めると『車いすになる』と思っている方もいるかもしれませんが、直接車いすになるのではなく、リサイクル業者に買い取ってもらったお金で購入されているのです。

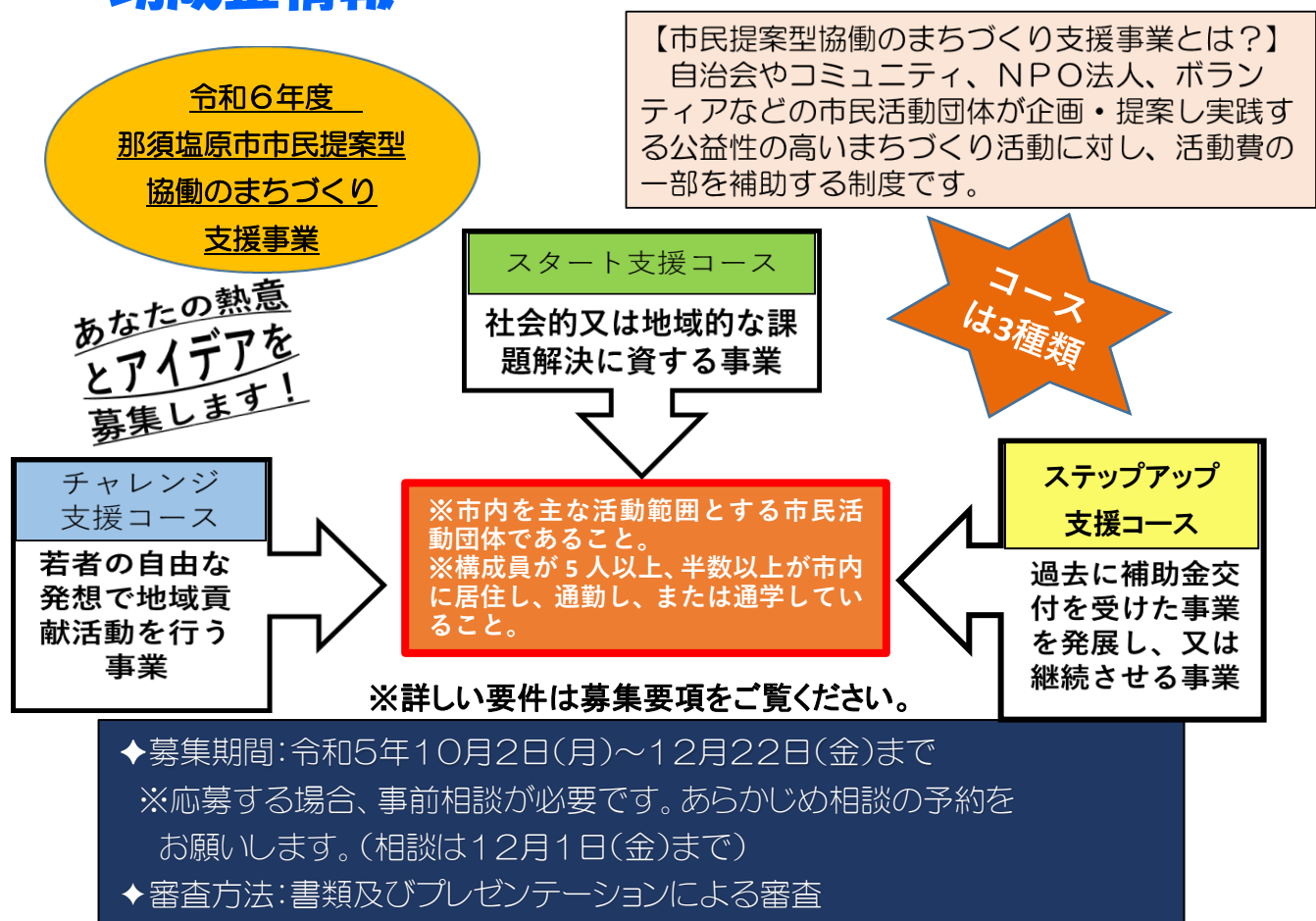
プルタブはアルミだから役に立つのですね！

研修会情報

令和5年度「パソコンボランティア養成研修会」

日 時 【1日目】 令和6年1月20日（土） 10:00～16:00
【2日目】 令和6年2月 3日（土） 10:00～15:00
会 場 とちぎ男女共同参画センター（パルティ）研修室304（両日とも）
〒320-0071 宇都宮市野沢町 4-1
対 象 ▶ 県内に在住・在勤・在学し、18歳以上で福祉に理解があり、パソコン・スマホ等の操作ができる方
▶ 研修終了後、パソコンボランティアとして視覚障害のある方、聴覚障害のある方の ICT 機器活用
のサポート活動ができる方
定員・参加料 10名・無料
参加申込み・お問合せ
電話、FAX、メールにより令和5年12月13日（水）までにお申し込みください。
お電話・FAX の場合は「ご氏名」、「ご連絡先（電話番号、FAX 番号、メールアドレス）」、
「ご住所」をお知らせください。
メールの場合は、件名「パソコンボランティア養成研修会 申し込み」とし、本文にて
「ご氏名」、「ご連絡先（電話番号、FAX 番号、メールアドレス）」、「ご住所」をお知らせ
ください。
TEL:028-612-5213 FAX:028-627-6880 メール: ict@tochigikenshakyou.jp
主 催 とちぎ視聴覚障害者情報センター（栃木障害者 ICT サポートセンター）

助成金情報



- ◆募集要項の配布場所
- ・市民活動センター・本庁舎市民協働推進課
 - ・西那須野支所総務税務課・塩原支所総務福祉課・帯根出張所
- ◆相談窓口及び書類の提出先は、
市民活動センター 協働推進係まで
詳しくはホームページをご覧ください。



ボランティア活動実績

9月	イベント他	8件	26人	10月	イベント他	9件	32人
	傾聴	11件	11人		傾聴	11件	11人
	福祉体験	2件	4人		福祉体験	3件	21人
	合計	21件	41人		合計	23件	64人

ボランティアセンター登録数（10月31日現在）

団体	個人
108団体（非公開含む）	96人

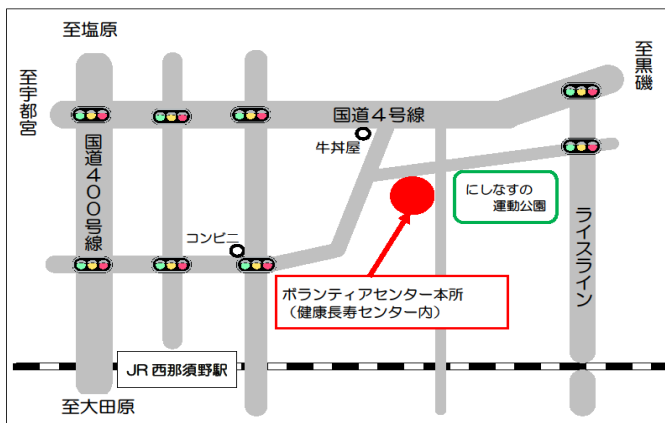


地域共生社会振興基金寄付者（令和4年11月1日～令和5年10月31日）（敬称略）

地域共生社会振興基金は、地域共生社会の実現のため、那須塩原市社会福祉協議会が設置している基金です。

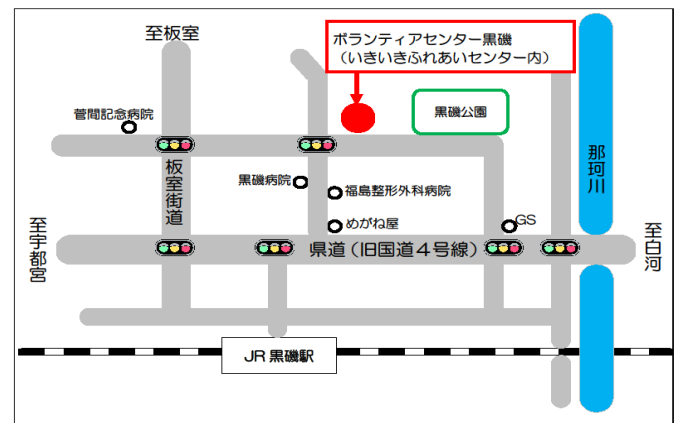
- ・一般社団法人那須塩原市建設業協会 ・有限会社三誠 なすの斎場 ・クリーニングおおもり
- ・那須野ヶ原ライオンズクラブ ・大栄建材株式会社 ・株式会社 Shikano ・有限会社白塩舎
- ・菊池産業株式会社 ・株式会社愛・ジャパン ・有限会社小阪製作所 ・株式会社クワバラ・パンパキン
- ・ふるさとになす産直会 ・株式会社那須電設 ・酪農とちぎ農業協同組合 ・株式会社那須ミッドシティホテル
- ・有限会社那須クリーン ・株式会社瀬尾本店 ・田口三知子

【ボランティアセンター本所】



住 所：那須塩原市南郷屋5-163
健康長寿センター内
電 話：0287-47-6700
FAX：0287-47-6690
Eメール：v.center@ns-shakyou.jp

【ボランティアセンター黒磯】



住 所：那須塩原市桜町1-5
いきいきふれあいセンター内
電 話：0287-73-0073
FAX：0287-73-0073
Eメール：k.vcenter@ns-shakyou.jp

発行：社会福祉法人那須塩原市社会福祉協議会
ボランティアセンター黒磯 TEL・FAX0287-73-0073
〒325-0042 那須塩原市桜町1-5
（いきいきふれあいセンター内）
Eメールアドレス k.vcenter@ns-shakyou.jp
ホームページアドレス <http://ns-shakyou.jp/>
★メール、FAX、お電話で皆さまの感想や情報をお寄せください。



【QRコード】



▲社協公式 LINE



▲ボランティア
センター情報誌



▲那須塩原市社協
フェイスブック